

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2014年第28週
(7月7日～7月13日)

- * 2014年7月16日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2014年6月)の疾患及び感染症豆知識
「魚介類の生食と寄生虫～新しいタイプの食中毒～」も
掲載しています。

平成26(2014)年7月17日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2014年28週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		25週	26週	27週	28週	年累計	28週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	91	86	94	91	2,068	413	13,267
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	鳥インフルエンザ(H7N9) *2							
三類	コレラ		2			2		2
	細菌性赤痢	1	1	1	3	22	3	54
	腸管出血性大腸菌感染症	17	20	23	24	153	154	1,198
	腸チフス	1				10	1	22
	パラチフス					3		8
四類	E型肝炎					16	1	76
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					26	1	372
	エキノコックス症							6
	黄熱							
	オウム病					2		6
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサヌル森林病							
	Q熱							1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 *3						5	32
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					2		6
	つつが虫病				1	5	5	105
	デング熱	3		1	1	28		86
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱						3	68	
日本脳炎								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		25週	26週	27週	28週	年累計	28週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					2		6
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア			2	1	14	2	31
	野兔病							
	ライム病							2
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	5	4	2	1	54	24	570
	レプトスピラ症					1		7
	ロッキー山紅斑熱							
2014/7/16集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 91件 肺結核 51件、その他の結核 11件、肺結核及びその他の結核 1件、無症状病原体保有者 27件、疑似症 1件、年齢は10歳未満 4件(うち5歳未満 2件)、10代 2件、20代 16件、30代 11件、40代 7件、50代 12件、60代 20件、70代 7件、80代 10件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 87件、ベトナム 2件、フィリピン 1件、国内又は中国 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 3件 患者 3件、菌種はソネネ 3件、年齢は20代 1件、50代 1件、60代 1件、推定感染地はインド 1件、インドネシア 1件、マダガスカル 1件、推定感染経路は経口感染 3件であった。

腸管出血性大腸菌感染症 24件 患者 16件(うちHUS発症 1件)、無症状病原体保有者 8件、血清型・毒素型はO26 VT1 2件、O103 VT1 1件、O111 VT1・VT2 1件、O145 VT1 1件、O145 VT2 1件、O157 VT1・VT2 10件、O157 VT2 3件、O157 VT型不明 4件、血清型不明VT1 1件、年齢は10歳未満 3件(うち2件は兄弟)、10代 7件(うち2件は兄妹)、20代 4件、30代 1件、40代 1件、50代 2件、60代 5件、70代 1件、推定感染地は国内 24件、推定感染経路は経口感染 13件(焼肉 4件、ハンバーグ 1件、半生牛肉 1件、食品不詳 7件)、接触感染(家族感染) 6件、不明 5件であった。患者のうち 1件及び無症状病原体保有者のうち 6件は、第27週に報告された患者の家族であった。

〈四類感染症〉

つつが虫病 1件 患者、年齢は20代、推定感染地は国内であった。

デング熱 1件 患者、年齢は40代、推定感染地は仏領ポリネシア(タヒチ)であった。

マラリア 1件 患者、年齢は20代、病型は熱帯熱、推定感染地はコートジボアールであった。

レジオネラ症 1件 病型は肺炎型、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2014年28週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		25週	26週	27週	28週	年累計	28週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	3	3	4	4	110	22	587
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	3	2	4		30	1	139
	急性脳炎 *1	1	1	3	1	24	3	263
	クリプトスポリジウム症		1	63	5	73		79
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		5	2	88
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	1	1		29	2	141
	後天性免疫不全症候群	12	15	18	16	275	21	799
	ジアルジア症		1			8	2	35
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2			1	1	16	4	113
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2	1				4	1	21
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	8	4	2	3	140	13	1,123
	先天性風しん症候群					3		8
	梅毒	13	17	15	13	263	23	813
	破傷風	1				6	5	64
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3	1	31
	風しん	2	3	3	1	67	6	241
麻しん		1	1		82	6	412	
2014/7/16集計								

*1 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 4件 病型は腸管 2件、腸管外 2件、年齢は30代 1件、50代 1件、60代 2件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は性別不明性的接触 1件、経口感染 1件、不明 2件であった。

急性脳炎 1件 病原体はヒトヘルペスウイルス6型、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

クリプトスポリジウム症 5件 患者 5件、年齢は10歳未満 1件、10代 1件、30代 1件、40代 2件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は接触感染(家族感染) 5件で、すべて第27週に報告された患者の家族であった。

後天性免疫不全症候群 16件 AIDS 1件、無症候キャリア 15件、AIDS患者の年齢は30代、無症候キャリアの年齢は20代 4件、30代 5件、40代 5件、70代 1件、推定感染地は国内 14件、国外(渡航先不明) 1件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 14件(同性間 11件、異性間 2件、両性間 1件)、不明 2件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 血清型は確認中、年齢は90歳以上、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、ヒブワクチン接種歴は不明であった。

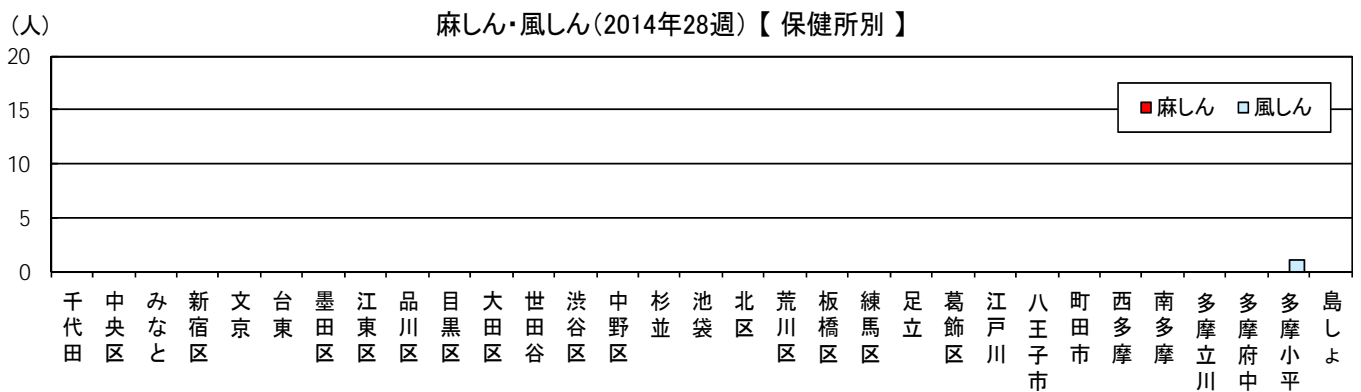
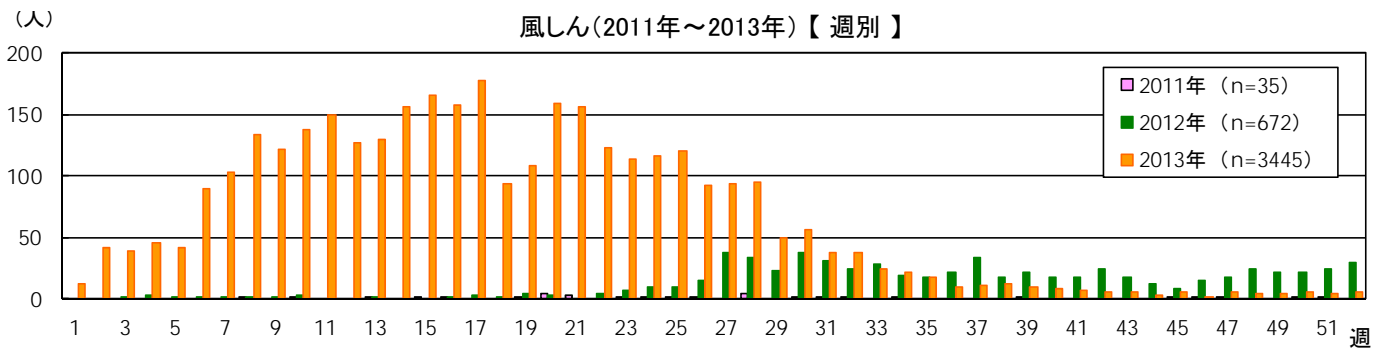
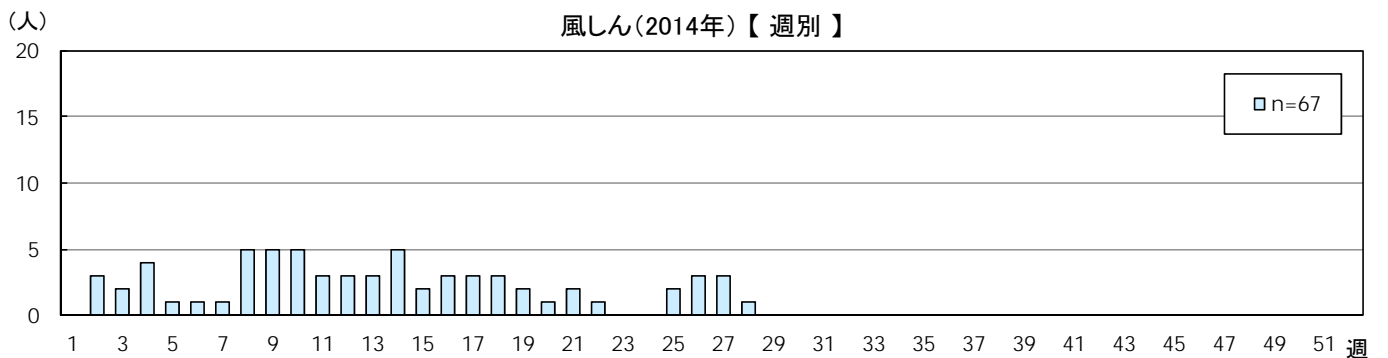
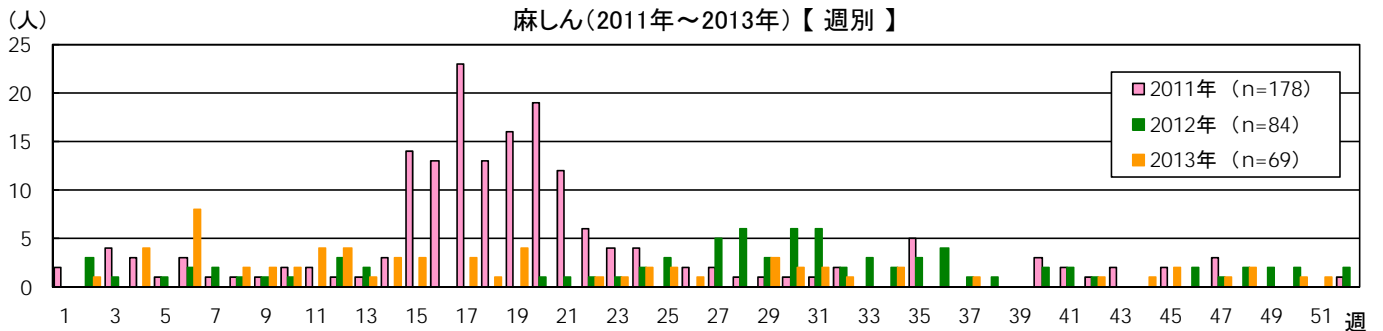
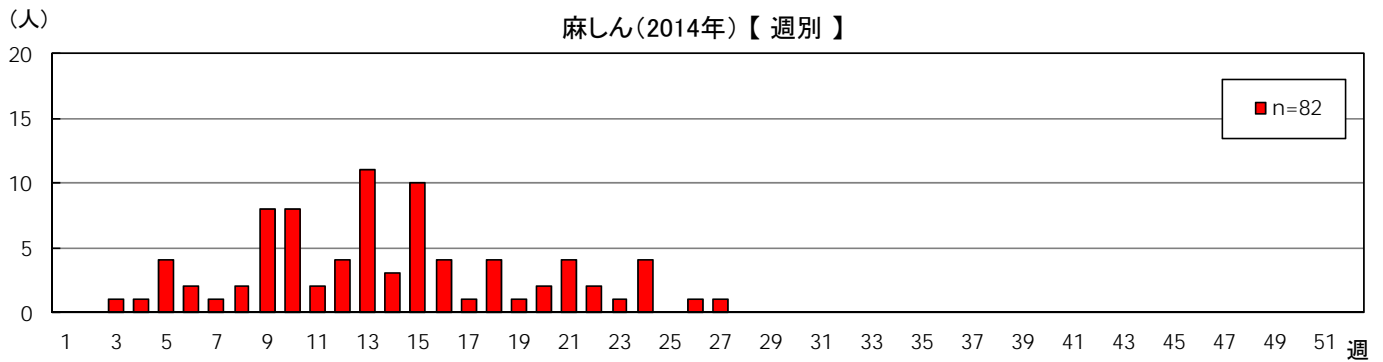
侵襲性肺炎球菌感染症 3件 血清型は未実施 3件、年齢は40代 1件、70代 2件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は接触感染 1件、不明 2件、肺炎球菌ワクチン接種歴は接種なし 2件、不明 1件であった。

梅毒 13件 早期顕症梅毒Ⅰ期 2件、早期顕症梅毒Ⅱ期 7件、無症候梅毒 4件、年齢は20代 1件、30代 5件、40代 3件、50代 2件、60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 12件、南アフリカ 1件、推定感染経路は性的接触 12件(同性間 8件、異性間 2件、性別不明 2件)、不明 1件であった。

風しん 1件 臨床診断例、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

※ 第27週該当分として〔五類〕後天性免疫不全症候群 1件の追加報告があった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2014年28週

定点種別	対象疾患	2014年					報告医療機関数	定点医療機関数
		25週	26週	27週	28週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	34	30	9	32	0.12	262	264
	咽頭結膜熱	229	243	191	160	0.61		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	741	760	669	645	2.46		
	感染性胃腸炎	1,644	1,524	1,474	1,348	5.15		
	水痘	270	247	193	187	0.71		
	手足口病	119	154	188	285	1.09		
	伝染性紅斑	131	138	129	160	0.61		
	突発性発しん	246	217	212	209	0.80		
	百日咳	4	4	9	3	0.01		
	ヘルパンギーナ	491	702	1,219	1,867	7.13		
	流行性耳下腺炎	58	79	96	99	0.38		
	川崎病 *1	3	4	4	3	0.01		
	不明発しん症 *1	35	42	44	33	0.13		
インフルエンザ	インフルエンザ *2	5	7	4	1	0.00	413	419
眼科	急性出血性結膜炎	1					39	39
	流行性角結膜炎	15	22	16	17	0.44		
基幹	細菌性髄膜炎 *3		1				25	25
	無菌性髄膜炎	3	1	5	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	2	2	4	2	0.08		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1		1				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	1	2					
	インフルエンザ入院	2	2	1	1	0.04		

2014/7/16集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

※ 警報基準値を超えたものは赤字で示しています。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑の定点当たり報告数は、過去5年平均よりも多い状態が続いている。
- ・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加し、**流行警報基準である6.0を超えた。**

(定点医療機関からのコメント)

大田区

- ・大流行ではありませんが、夏カゼシーズンようです。

世田谷

- ・アデノウイルス 1名
- ・ヘルパンギーナが増えました。

北区

- ・手足口病は皆無、昨年の大流行と全く異なる夏です。ただし、有熱患者は増加しています。

荒川区

- ・アデノウイルス咽頭炎 6名、ヒトメタニューモウイルス 2名、アデノウイルス胃腸炎 1名
- ・病原性大腸菌 O15、O18、O112 各1名

板橋区

- ・カンピロバクター 6名、病原性大腸菌 O1 1名、O18 2名

葛飾区

- ・1日のみの発熱が多い
- ・アデノウイルス扁桃炎 1名

八王子市

- ・アデノウイルス 1名
- ・アデノウイルス咽頭炎 1名
- ・アデノウイルス咽頭炎 3名、ヒトメタニューモウイルス肺炎 1名

多摩小平

- ・病原性大腸菌 12名、アデノウイルス腸炎 1名、ヒトメタニューモウイルス 6名

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2014年28週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	6	2		19	2	3		6		9	
6～11か月	9	11	2	123	6	20	1	73		138	2
1歳	10	41	23	192	19	75	5	107	1	553	4
2歳	5	33	46	123	18	52	15	18		373	8
3歳	1	19	70	137	47	63	17	3		279	13
4歳		13	91	135	33	23	28	1		206	9
5歳		17	113	114	20	17	28			145	14
6歳		5	77	96	19	9	24			70	15
7歳		6	61	73	10	4	10	1		40	7
8歳		4	40	57	5	9	8		1	18	11
9歳			28	33	2	3	12			13	6
10～14歳	1	4	63	113	4	5	7			17	3
15～19歳		2	5	22	1						2
20～29歳		3	26	111	1	2	5		1	6	5
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	32	160	645	1,348	187	285	160	209	3	1,867	99
先週比	23	-31	-24	-126	-6	97	31	-3	-6	648	3

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月											
6～11か月		10									
1歳		11			1						
2歳	1	6						1			
3歳	1	1			1						
4歳		2			1						
5歳		1									
6歳											
7歳	1				1						
8歳											
9歳		1									
10～14歳		1			1						
15～19歳											1
20～29歳			1		1						
30～39歳					2		1				
40～49歳					6			1			
50～59歳					1						
60～69歳					1						
70～79歳					1						
80歳以上											
合計	3	33	1		17		1	2			1
先週比	-1	-11	-3		1		-4	-2	-1		

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2014年28週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田		0.33	1.00	1.33		0.33			0.33	1.33	
中央区		0.67	0.33	2.67		1.00	1.33	0.33		3.00	0.33
みなと	1.50	1.67	0.33	4.17	0.33	0.17	0.33	1.00		8.33	0.33
新宿区	0.13	0.63	3.13	3.25	0.13	0.63		0.88		5.00	1.25
文京		0.50	1.00	2.50	0.75	0.25	0.25	1.00		5.75	0.50
台東	0.75	0.50	0.75	10.00		1.00	0.25	1.00		5.00	0.75
墨田区		1.00	1.60	3.00	0.60	0.40	0.80	1.00		3.80	
江東区		1.00	2.11	10.89	1.00	0.78	0.89	1.44		5.67	0.22
品川区		1.13	2.13	4.38	0.75	0.25	0.25	0.50		8.38	
目黒区			2.00	3.40		1.60	1.40	0.40		4.60	0.40
大田区	0.08	1.15	3.31	7.38	1.77	0.62	0.92	1.00		7.62	0.31
世田谷		0.56	2.00	5.94	0.38	0.44	1.63	0.63		9.25	0.31
渋谷区		0.75	0.50	4.50		0.50	0.25			2.25	
中野区	0.14	0.43	1.00	4.29	0.29	0.43	0.14	0.43		3.86	
杉並	0.10	0.60	0.50	7.30	0.50	0.10	0.30	0.40		1.40	
池袋	0.60	0.60	0.80	2.40	0.40		0.80			1.80	0.40
北区		0.43	0.86	4.43	0.57	1.14		1.29		4.71	1.00
荒川区		0.25	1.00	4.25	0.25			0.75		8.25	0.25
板橋区		0.20	0.60	3.10	0.90	0.90	0.10	0.60		2.30	1.50
練馬区		0.77	3.69	3.69	0.38	1.62	1.23	0.69		7.62	0.31
足立	0.23	0.31	2.31	5.54	0.92	3.31	0.08	0.77		5.85	0.15
葛飾区		0.75	1.63	6.88	0.25	0.63	0.50	1.13		4.63	0.13
江戸川	0.25	1.25	3.75	6.17	1.00	0.08	0.33	0.92	0.08	7.75	0.67
八王子市	0.18	0.36	5.73	9.36	1.73	3.64	2.00	1.00	0.09	12.91	0.45
町田市	0.25	0.25	5.13	5.38	1.88	2.75	0.88	1.50		12.88	0.38
西多摩		0.38	1.88	3.75	0.25	1.00	0.38	0.38		6.75	0.63
南多摩		0.11	4.00	4.33	0.78	1.22	0.33	0.67		8.67	0.44
多摩立川	0.07	0.21	4.07	3.14	0.57	0.50	0.57	0.36		6.79	0.36
多摩府中		0.58	2.37	4.58	0.95	2.05	0.16	1.05		10.84	0.21
多摩小平	0.13	0.73	3.33	4.80	0.73	1.07	0.80	1.20		12.20	0.13
島しょ			1.00					1.00			
東京都	0.12	0.61	2.46	5.15	0.71	1.09	0.61	0.80	0.01	7.13	0.38

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田											
中央区			0.20		1.00						
みなと								1.00			
新宿区											
文京											
台東											
墨田区	0.20										
江東区		0.11									
品川区		0.25									
目黒区		0.20									
大田区		0.15			0.50						
世田谷		0.25									
渋谷区					1.00						
中野区		0.43			2.00						
杉並					2.00						
池袋											
北区					1.00						
荒川区					2.00						
板橋区		0.10									
練馬区		0.31			0.50						
足立											
葛飾区	0.13										
江戸川					0.50						
八王子市		0.27			0.50						
町田市		0.38									
西多摩					1.00						
南多摩											
多摩立川		0.07									
多摩府中	0.05	0.11			1.00		0.33				0.33
多摩小平		0.40						0.50			
島しょ											
東京都	0.01	0.13	0.00		0.44		0.04	0.08			0.04

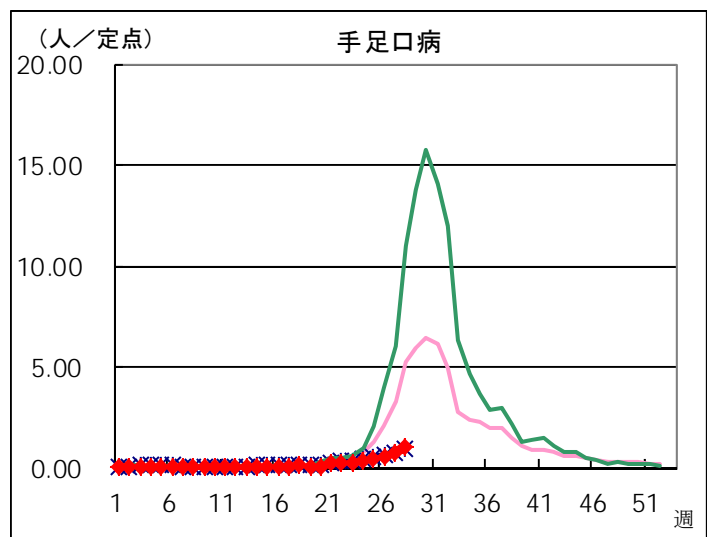
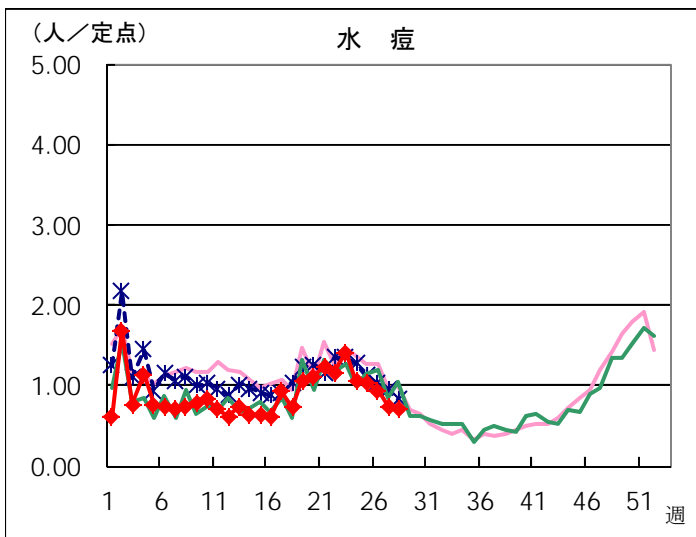
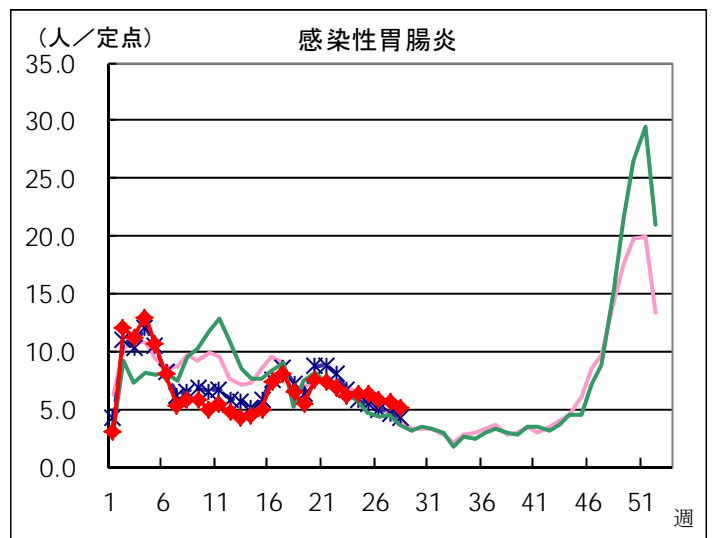
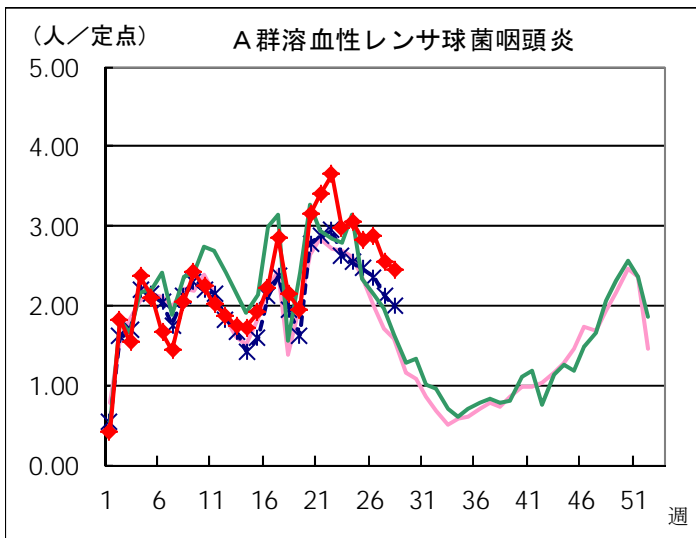
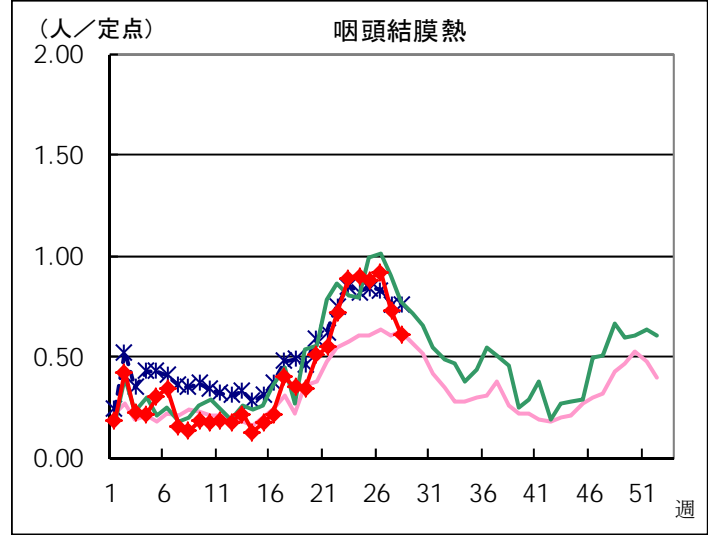
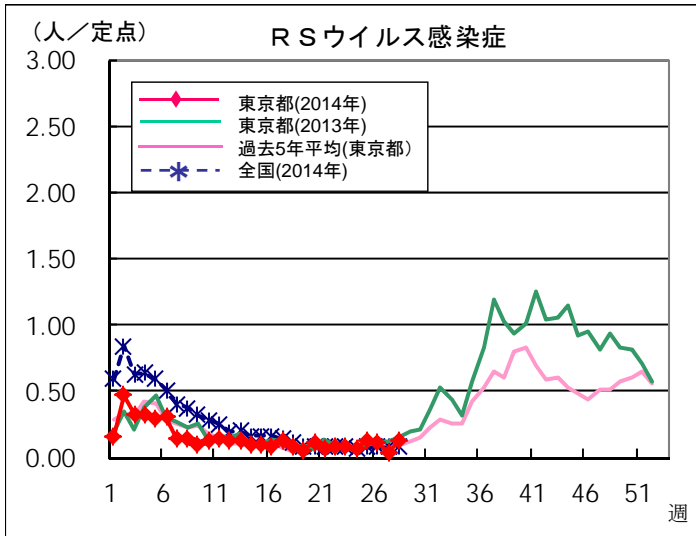
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2014年28週

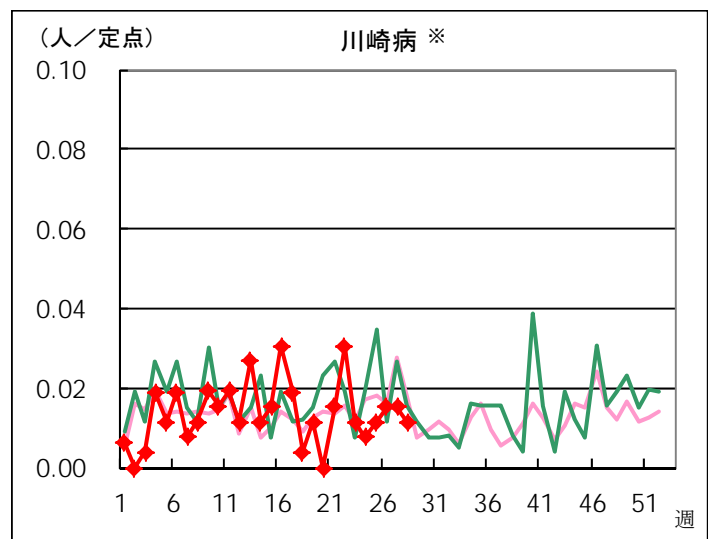
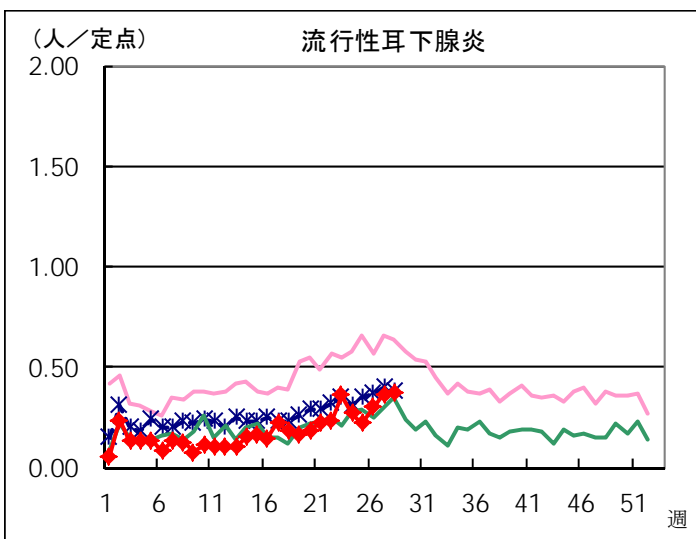
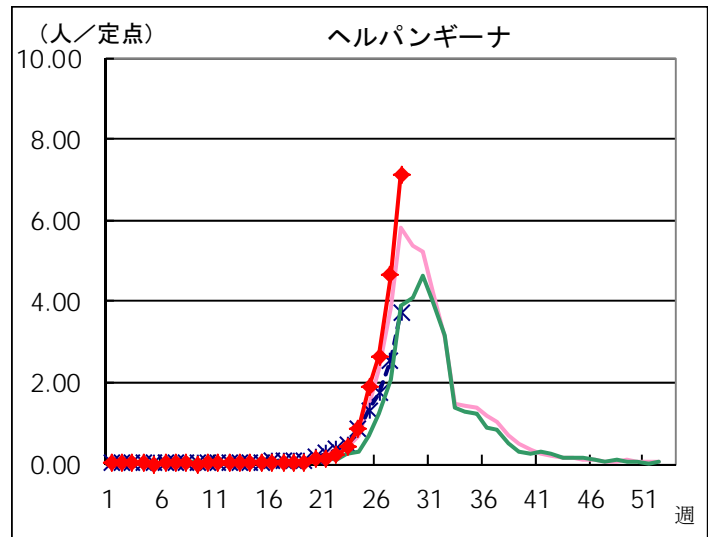
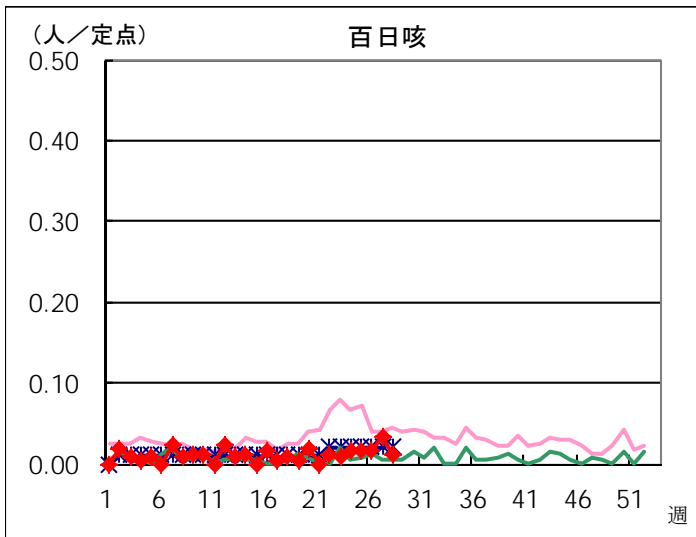
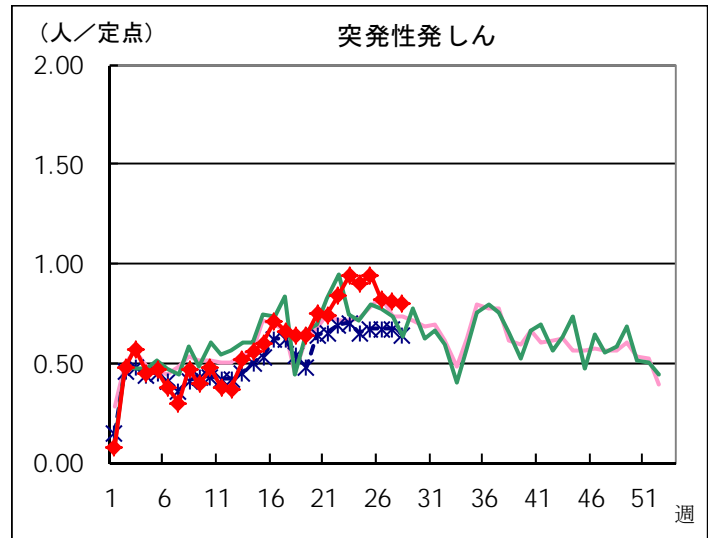
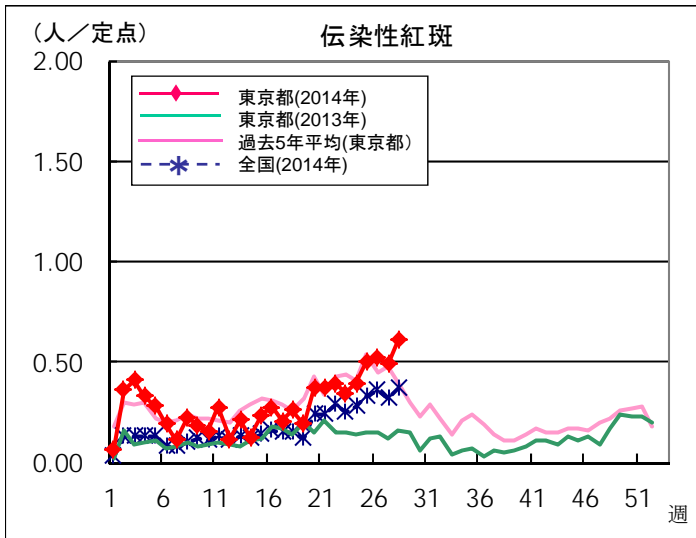
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田		1	3	4		1			1	4	
中央区		2	1	8		3	4	1		9	1
みなと	9	10	2	25	2	1	2	6		50	2
新宿区	1	5	25	26	1	5		7		40	10
文京		2	4	10	3	1	1	4		23	2
台東	3	2	3	40		4	1	4		20	3
墨田区		5	8	15	3	2	4	5		19	
江東区		9	19	98	9	7	8	13		51	2
品川区		9	17	35	6	2	2	4		67	
目黒区			10	17		8	7	2		23	2
大田区	1	15	43	96	23	8	12	13		99	4
世田谷		9	32	95	6	7	26	10		148	5
渋谷区		3	2	18		2	1			9	
中野区	1	3	7	30	2	3	1	3		27	
杉並	1	6	5	73	5	1	3	4		14	
池袋	3	3	4	12	2		4			9	2
北区		3	6	31	4	8		9		33	7
荒川区		1	4	17	1			3		33	1
板橋区		2	6	31	9	9	1	6		23	15
練馬区		10	48	48	5	21	16	9		99	4
足立	3	4	30	72	12	43	1	10		76	2
葛飾区		6	13	55	2	5	4	9		37	1
江戸川	3	15	45	74	12	1	4	11	1	93	8
八王子市	2	4	63	103	19	40	22	11	1	142	5
町田市	2	2	41	43	15	22	7	12		103	3
西多摩		3	15	30	2	8	3	3		54	5
南多摩		1	36	39	7	11	3	6		78	4
多摩立川	1	3	57	44	8	7	8	5		95	5
多摩府中		11	45	87	18	39	3	20		206	4
多摩小平	2	11	50	72	11	16	12	18		183	2
島しょ			1					1			
東京都合計	32	160	645	1,348	187	285	160	209	3	1,867	99

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田											
中央区			1		1						
みなと								1			
新宿区											
文京											
台東											
墨田区	1										
江東区		1									
品川区		2									
目黒区		1									
大田区		2			1						
世田谷		4									
渋谷区					1						
中野区		3			2						
杉並					2						
池袋											
北区					1						
荒川区					2						
板橋区		1									
練馬区		4			1						
足立											
葛飾区	1										
江戸川					1						
八王子市		3			1						
町田市		3									
西多摩					1						
南多摩											
多摩立川		1									
多摩府中	1	2			3		1				1
多摩小平		6						1			
島しょ											
東京都合計	3	33	1		17		1	2			1

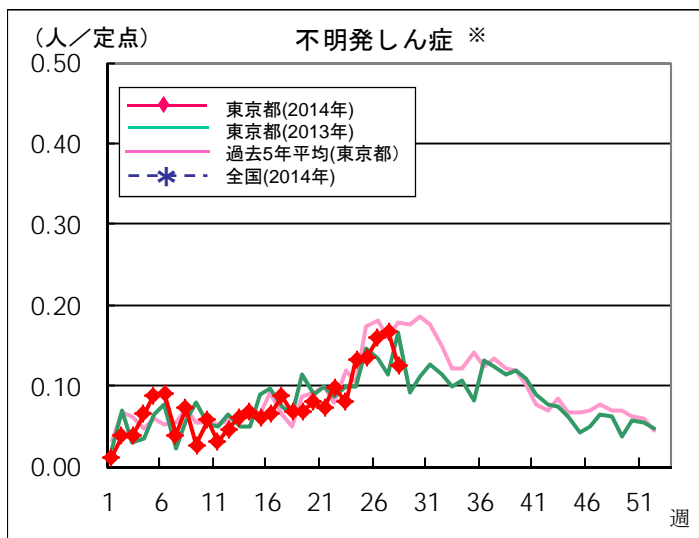
定点把握対象疾患 週別報告数(2014年28週 現在)

◆ 小児科定点

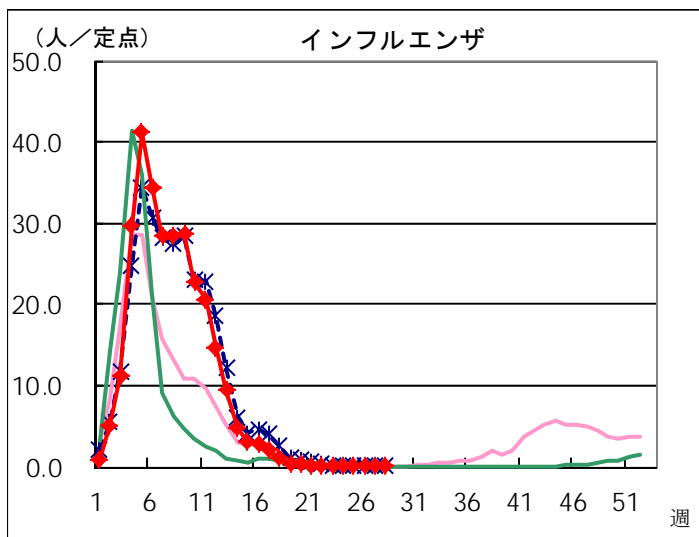




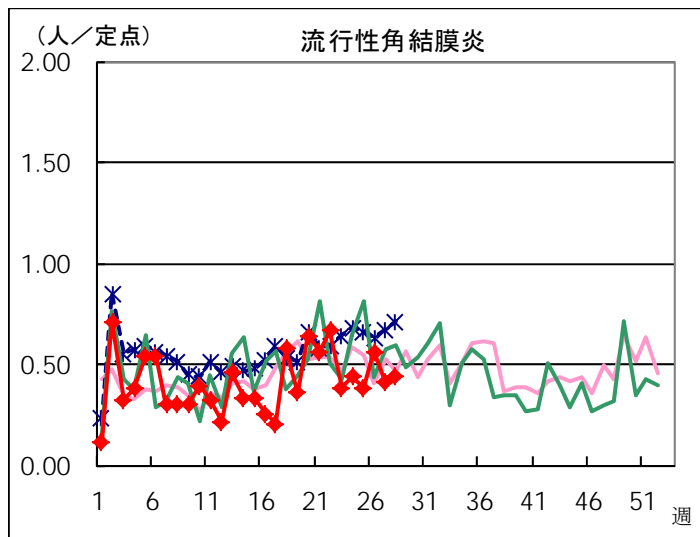
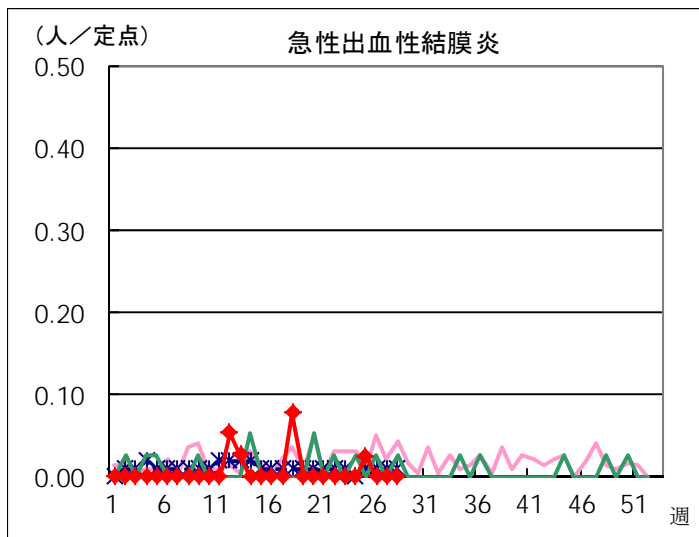
※ 東京都独自対象疾患



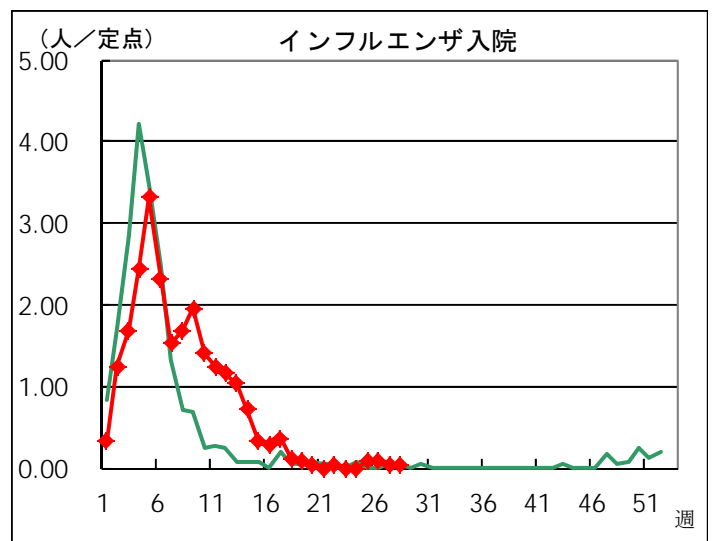
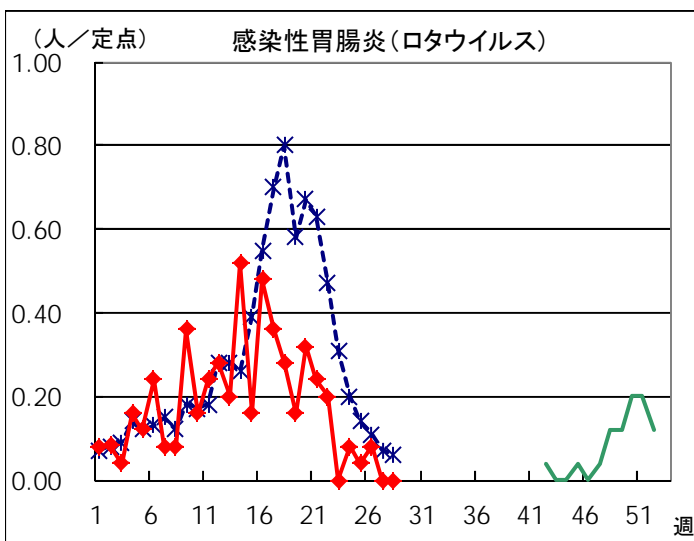
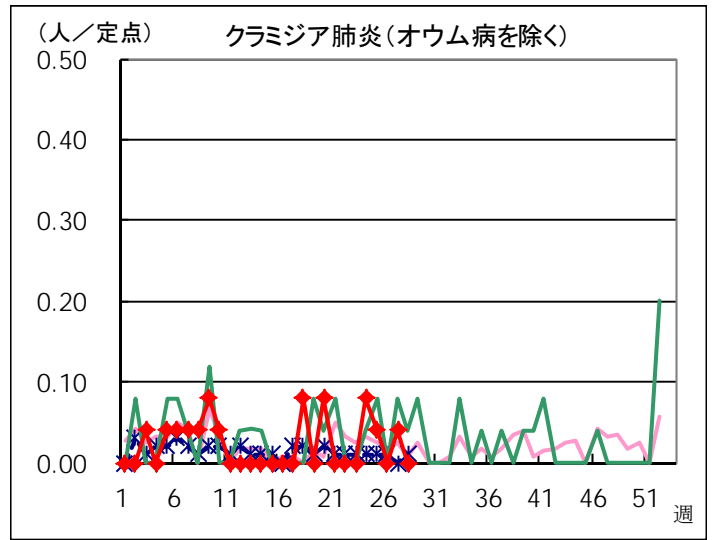
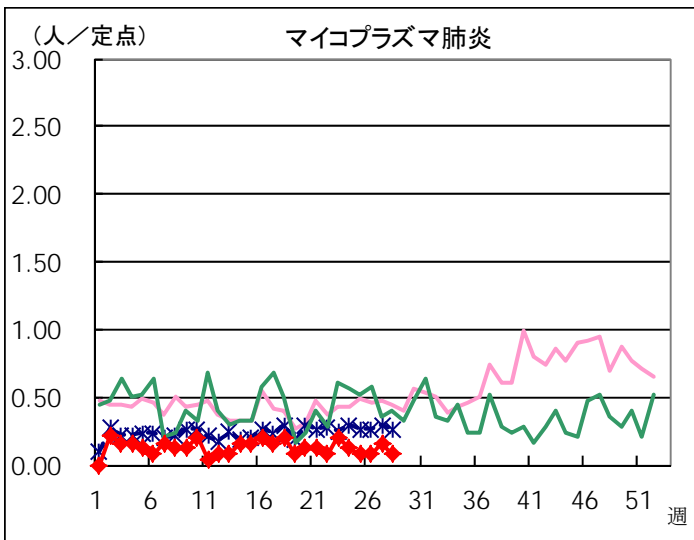
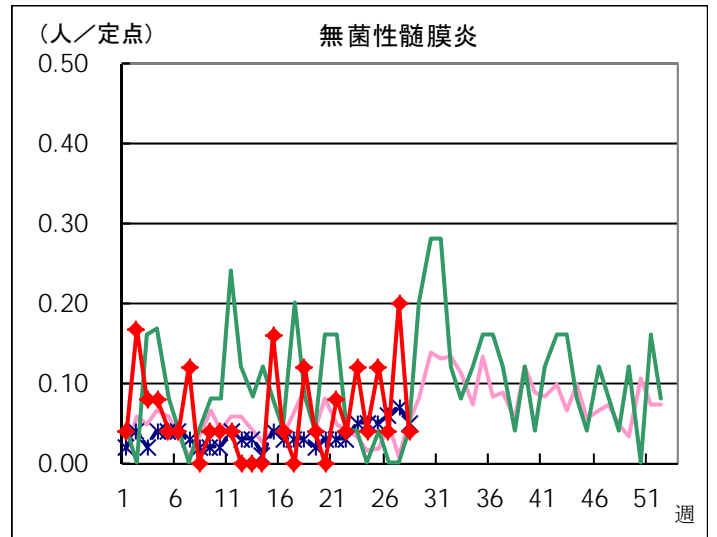
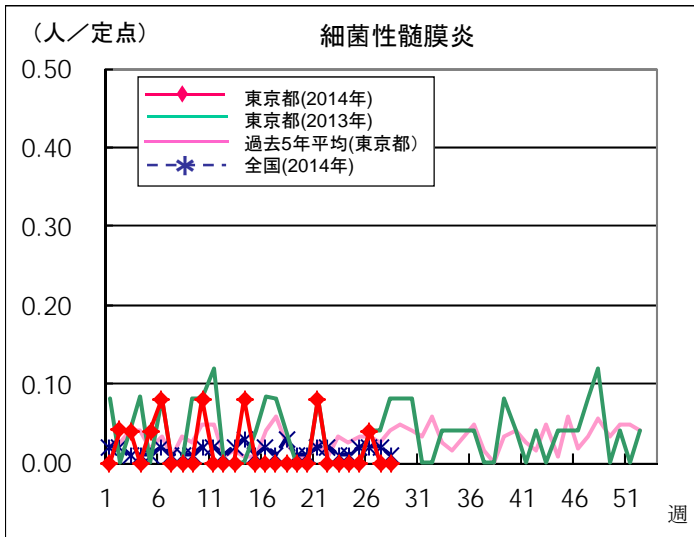
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体
7/3	急性気管支炎	1M	咽頭拭い液	エンテロウイルス パラインフルエンザウイルス 3型
6/28	咽頭結膜熱	2M	咽頭拭い液	エコーウイルス 30型
6/29	髄膜炎	2M	髄液	エンテロウイルス
6/27	急性気管支炎	4M	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス 3型
7/1	ヘルパンギーナ	5M	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群4型
6/25	気管支炎	7M	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス 3型
7/1	不明発しん症 気管支炎	9M	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス 1型
6/28	咽頭扁桃炎	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群4型
6/30	ウイルス性発しん症	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型
7/1	ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群4型
6/30	咽頭炎	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群4型
6/30	咽頭結膜熱	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群4型
6/30	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス 7型
6/30	不明発しん症	1	咽頭拭い液	アデノウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型
6/27	下痢症	2	直腸拭い液	アデノウイルス
7/3	不明熱 嘔吐症	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型
6/25	急性咽頭炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス EBウイルス
6/27	水痘	2	咽頭拭い液	ライノウイルス
6/28	咽頭結膜熱	3	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群4型
7/1	急性咽頭炎	4	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群4型
6/30	流行性耳下腺炎	4	咽頭拭い液	ムンプスウイルス EBウイルス
6/30	ウイルス性発しん症	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス EBウイルス
6/28	ヘルパンギーナ	5	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群4型
6/30	ヘルパンギーナ	5	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群4型
7/2	不明発しん症	5	咽頭拭い液	ライノウイルス
6/27	ヘルパンギーナ	6	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群4型
6/27	流行性耳下腺炎	6	咽頭拭い液	ムンプスウイルス

採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体
6/26	嘔吐症	9	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ
6/30	咽頭結膜熱	14	咽頭拭い液	アデノウイルス
7/1	急性扁桃炎	16	咽頭拭い液	エンテロウイルス EBウイルス
6/25	流行性角結膜炎	23	結膜拭い液	アデノウイルス

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

27週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09*1	AH1亜型	AH3亜型	B型
27週				
2013-2014年 シーズン累計*2	162		59	188

*1 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とする。

*2 2013-2014年シーズンの開始は第36週(2013年9月2日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2014年							
	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
アデノウイルス	3	4	3	2	2	7	1	6
ライノウイルス	5	5	4	6	6	7	8	4
ポリオウイルス								
コクサッキーウイルスA群				1		1	3	10
コクサッキーウイルスB群				1				
エコーウイルス							1	1
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス					2	3	1	5
単純ヘルペスウイルス	1			1				
水痘・帯状疱疹ウイルス	1				2		1	
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	7	4	1	3	10		3	4
EBウイルス		4	2		1			4
サイトメガロウイルス							1	
ムンプスウイルス	3	1	1		2			2
麻疹ウイルス	1						1	
風疹ウイルス		1					1	
ヒトパルボウイルスB19	1			1	1	1		
RSウイルス								
ノロウイルス	1		2				1	1
ロタウイルス			1	1		1		
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型								
インフルエンザウイルスB型	5	1	1	1		1		
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1							
デングウイルス(抗体を含む)		2						
その他のウイルス	2		2	1	4	1	2	4
その他の病原体	2			1				

病原体検出情報【臨床診断名別】

2014年20週～2014年27週

	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他
搬入検体数	22	20	26	30	36	31	5	6	6	4	49	15	6			24
アデノウイルス	1	3	1	3		10	1	1	1		4					3
ライノウイルス	2	2	11		2	6			2		11	3	2			4
ポリオウイルス																
コクサッキーウイルスA群		5				5		5								
コクサッキーウイルスB群	1															
エコーウイルス						1										1
エンテロウイルス71																
その他のエンテロウイルス	1	2	3		1	2					1					1
単純ヘルペスウイルス					1											1
水痘・带状疱疹しんウイルス													4			
ヒトヘルペスウイルス6型・7型						2			2	2	20					6
EBウイルス		3									2	4				2
サイトメガロウイルス											1					
ムンプスウイルス					2							7				
麻疹ウイルス									1		1					
風しんウイルス									1		1					
ヒトパルボウイルスB19										3	1					
RSウイルス																
ノロウイルス				5												
ロタウイルス				3												
インフルエンザウイルスAH1亜型																
インフルエンザウイルスAH3亜型																
インフルエンザウイルスB型	6		1				1				1					
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1															
デングウイルス(抗体を含む)																2
その他のウイルス		2	11	2							1					
その他の病原体				3												

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2014年6月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり	合計	定点当たり	報告医療機関数	定点医療機関数
性感染症	性器クラミジア感染症	男	128	2.33	232	4.22	55	55
		女	104	1.89				
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	67	1.22	113	2.05		
		女	46	0.84				
	尖圭コンジローマ	男	70	1.27	112	2.04		
		女	42	0.76				
	淋菌感染症	男	66	1.20	110	2.00		
		女	44	0.80				
	膣トリコモナス症 *1	男			12	0.22		
		女	12	0.22				
梅毒様疾患	男	9	0.16	12	0.22			
	女	3	0.05					
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	男	42	1.68	91	3.64	25	25
		女	49	1.96				
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	男	8	0.32	12	0.48		
		女	4	0.16				
	薬剤耐性緑膿菌感染症	男	2	0.08	2	0.08		
		女						
薬剤耐性アシネトバクター感染症 *2	男							
	女							

2014/5/12

*1 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(*Trichomonas vaginalis*)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

*2 2011年2月1日より新たに指定された。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症・基幹) 報告数【年齢階級別】2014年6月

男										
年齢階級	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	陰トリコ モナス症	梅毒様疾患	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症	薬剤耐性 アシネトバク ター感染症
0歳							12			
1～4歳							6	2		
5～9歳								3		
10～14歳								1		
15～19歳	7			6						
20～24歳	14	2	3	11		1				
25～29歳	25	6	10	9		1				
30～34歳	27	5	15	10		3	2			
35～39歳	17	8	11	11		2				
40～44歳	12	11	13	7		1				
45～49歳	8	15	11	7		1				
50～54歳	8	5	5	2			2			
55～59歳	4	6	1	1						
60～64歳	5	3		1			1			
65～69歳	1	5		1			5		1	
70歳～		1	1				14	2	1	
合計	128	67	70	66		9	42	8	2	
先月数	115	74	42	78		7	38	10	1	
増減数	13	-7	28	-12		2	4	-2	1	

女										
年齢階級	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	陰トリコ モナス症	梅毒様疾患	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症	薬剤耐性 アシネトバク ター感染症
0歳							19			
1～4歳							1	3		
5～9歳				1			1			
10～14歳										
15～19歳	12	1		1	1					
20～24歳	35	5	15	7	2	2				
25～29歳	17	8	13	10	2	1	1			
30～34歳	22	9	4	9	2					
35～39歳	8	7	6	6	2					
40～44歳	8	4	3	4	1					
45～49歳	1	4		3	1		1			
50～54歳	1	1	1	3	1		1			
55～59歳		2					2			
60～64歳		1								
65～69歳								1		
70歳～		4					23			
合計	104	46	42	44	12	3	49	4		
先月数	110	36	22	47	16	6	37	6	1	
増減数	-6	10	20	-3	-4	-3	12	-2	-1	

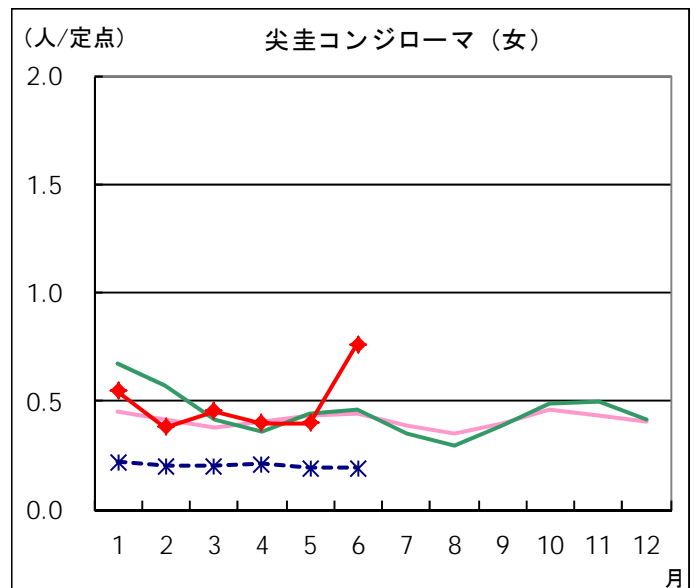
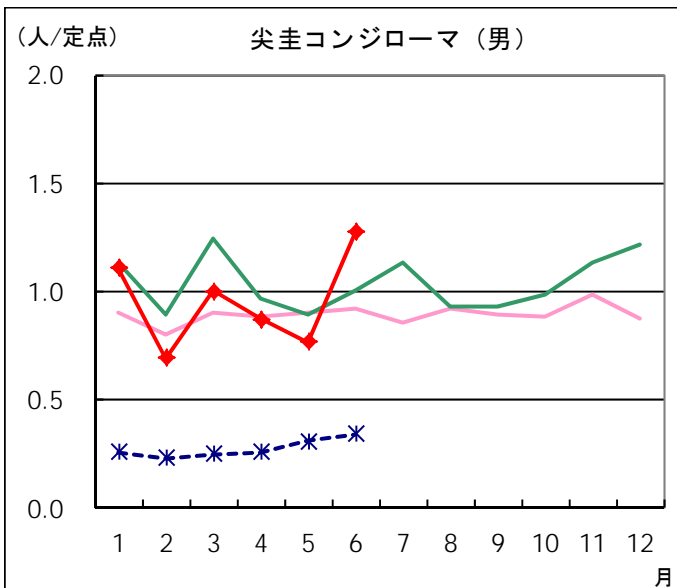
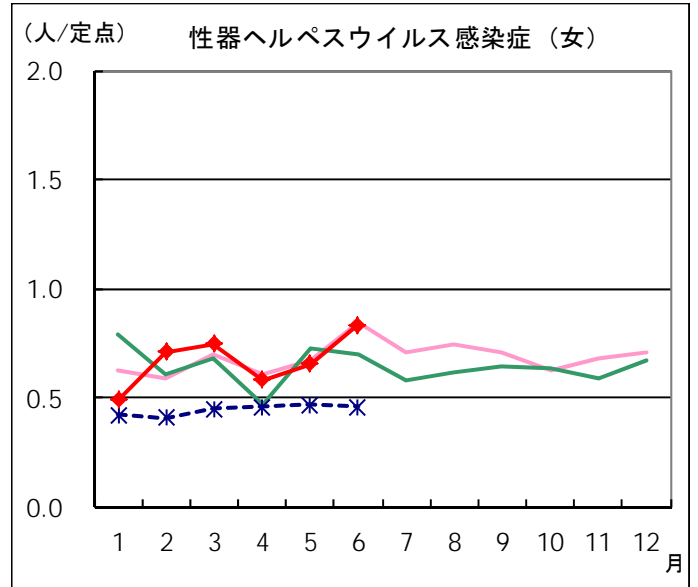
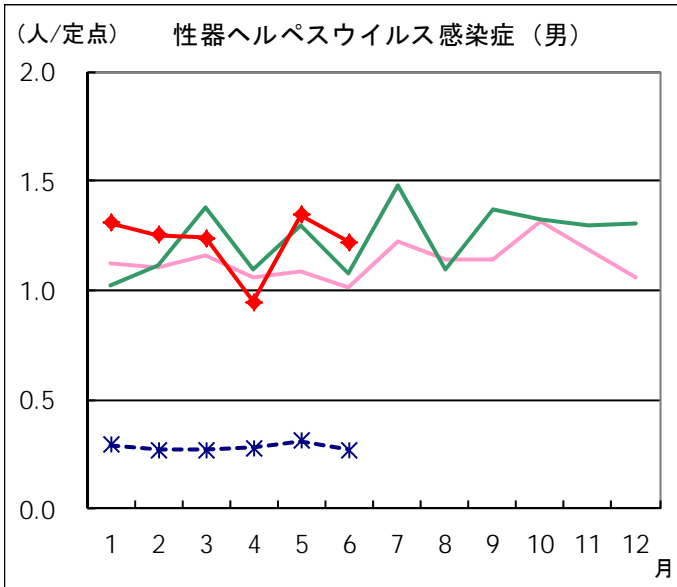
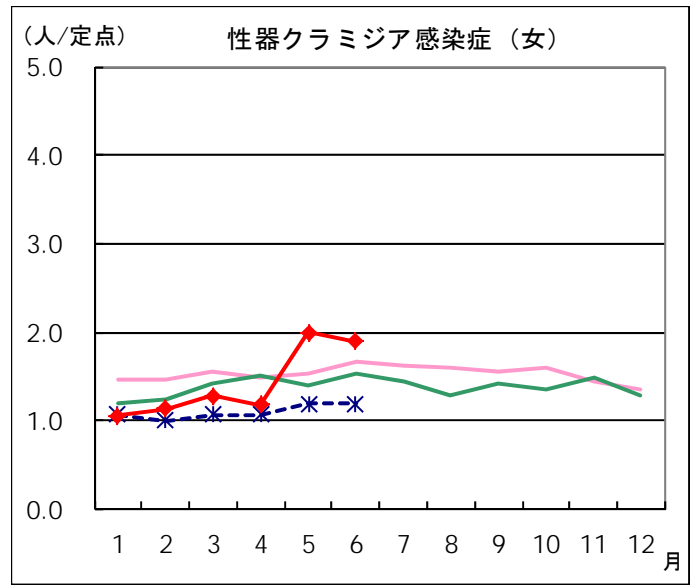
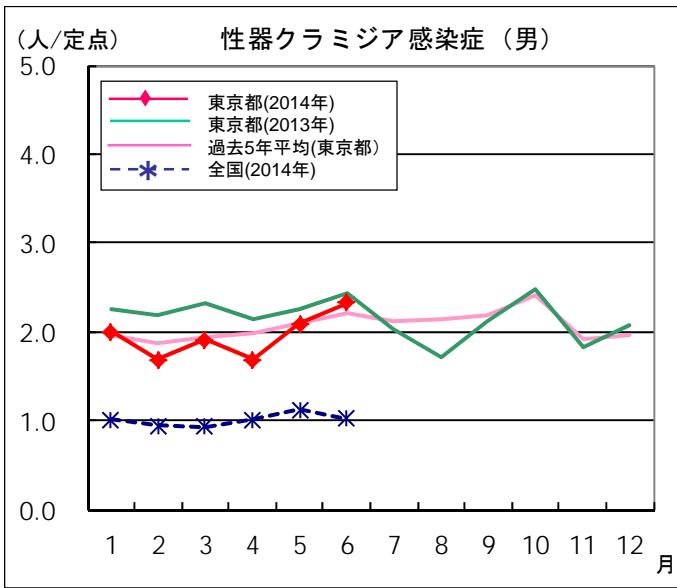
月報告 定点把握対象疾患(性感染症)報告数【保健所別】 2014年6月

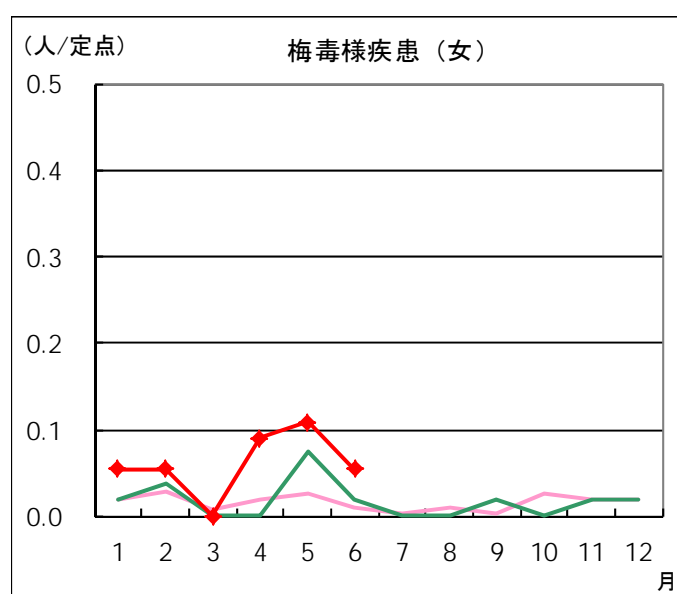
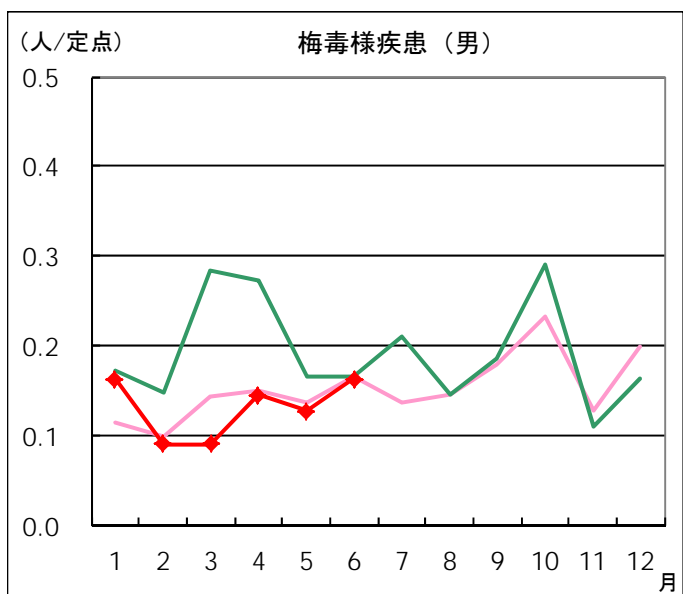
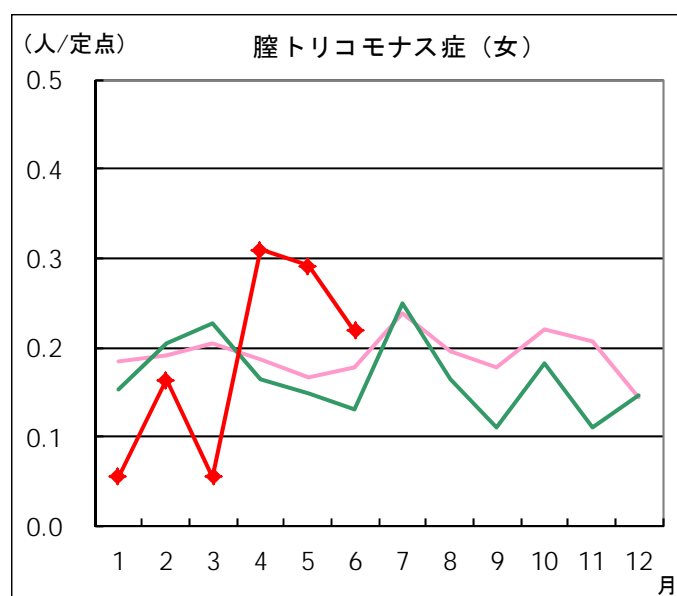
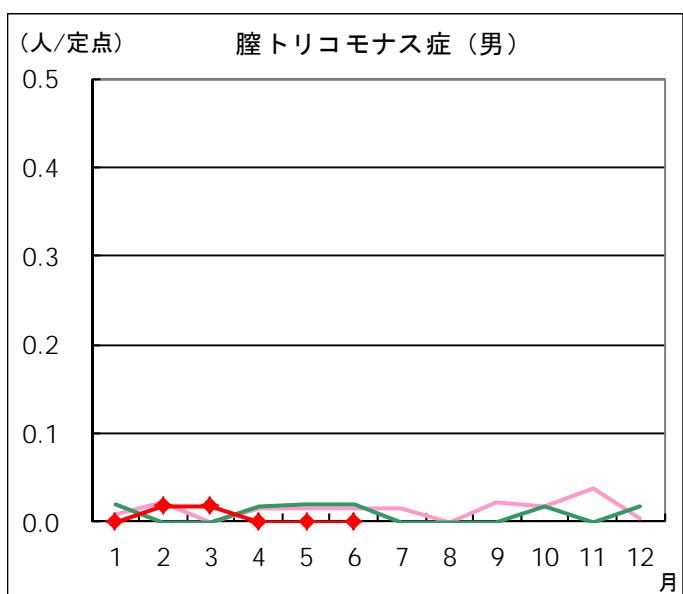
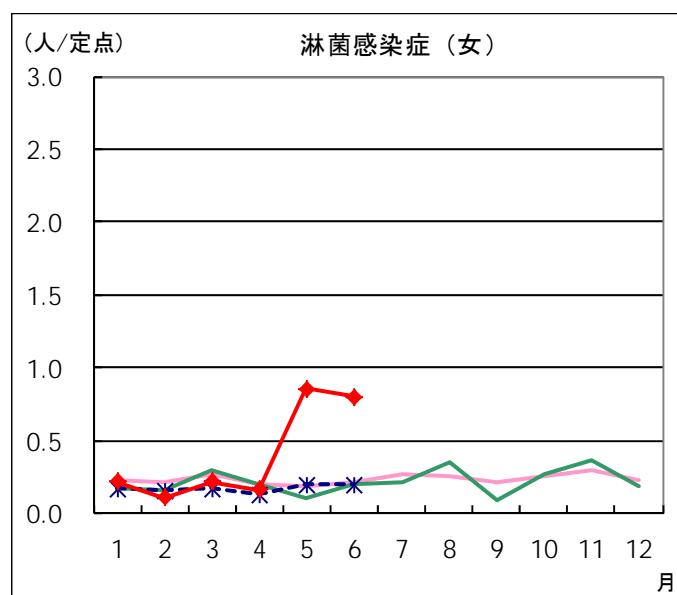
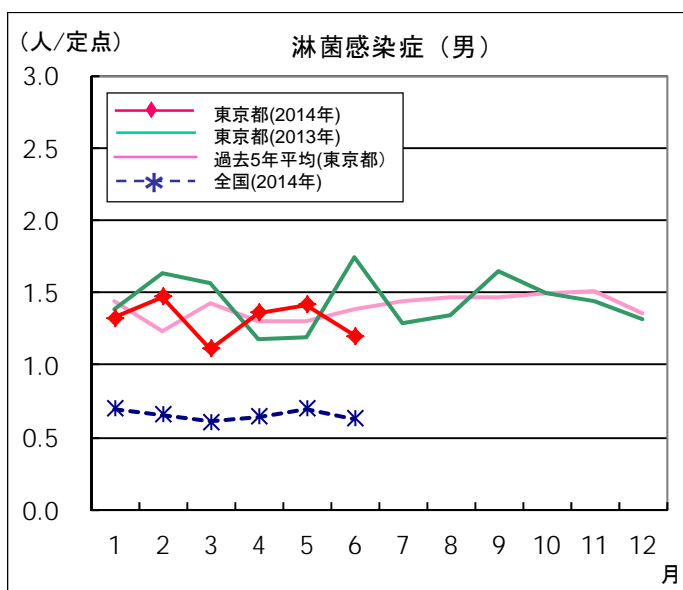
男								
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	総計
千代田	2	21	3	3	3		1	31
中央区	3	6	6		2			14
みなと	2	19	35	8	3			65
新宿区	7	27	8	44	20		5	104
文京	1	6			1		1	8
台東	2	1	1	1	3			6
墨田区	2		1	1	1			3
江東区	2	8	5	5	7			25
品川区	1	7	1	2	1			11
大田区	2	2			2			4
渋谷区	5	7		2	4			13
中野区	2		2		1		1	4
杉並	2	6					1	7
池袋	3	13	5	2	13			33
北区	1	1			1			2
荒川区	1							
板橋区	2	3		2	2			7
足立	2				1			1
江戸川	2				1			1
八王子市	4	1						1
町田市	1							
多摩立川	2							
多摩府中	3							
多摩小平	1							
合計	55	128	67	70	66		9	340
定点当たり		2.33	1.22	1.27	1.20		0.16	6.18

女								
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	総計
千代田	2							
中央区	3	2	1					3
みなと	2		6	6			1	13
新宿区	7	6	8	19	6		1	40
文京	1							
台東	2	20	4	7	27	5		63
墨田区	2	4				1		5
江東区	2	1						1
品川区	1							
大田区	2	9						9
渋谷区	5	6	9	2		1		18
中野区	2							
杉並	2			1				1
池袋	3	6	8	3	5	1		23
北区	1							
荒川区	1	5	1					6
板橋区	2	4		1	3		1	9
足立	2	2			2			4
江戸川	2	12	6			3		21
八王子市	4	6	1	1		1		9
町田市	1	4	2					6
多摩立川	2	17			1			18
多摩府中	3			2				2
多摩小平	1							
合計	55	104	46	42	44	12	3	251
定点当たり		1.89	0.84	0.76	0.80	0.22	0.05	4.56

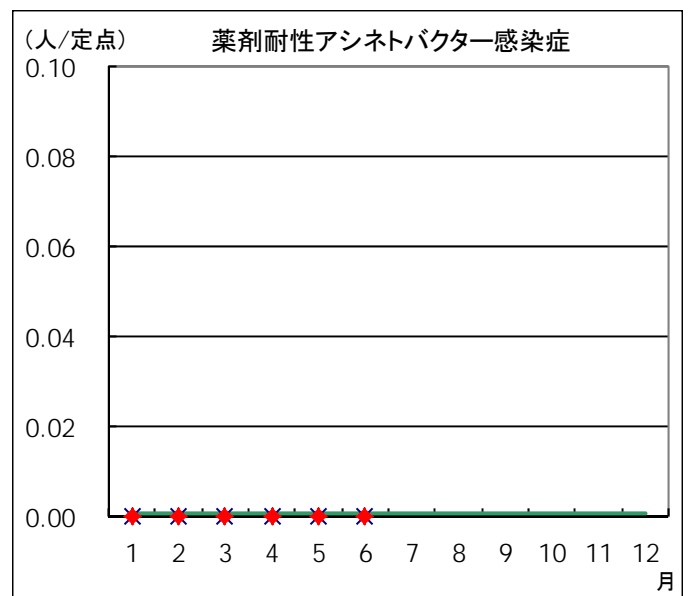
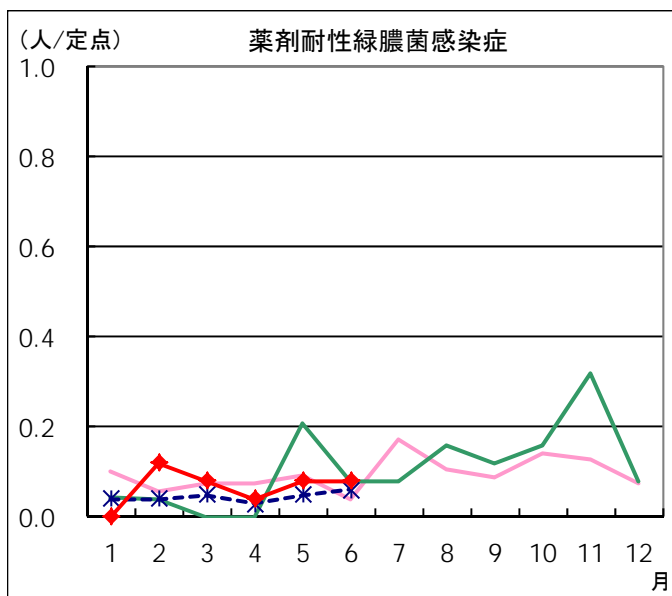
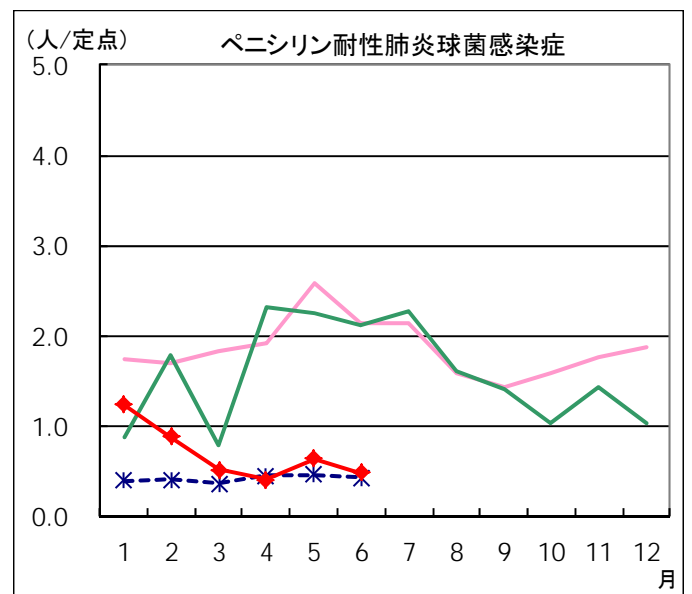
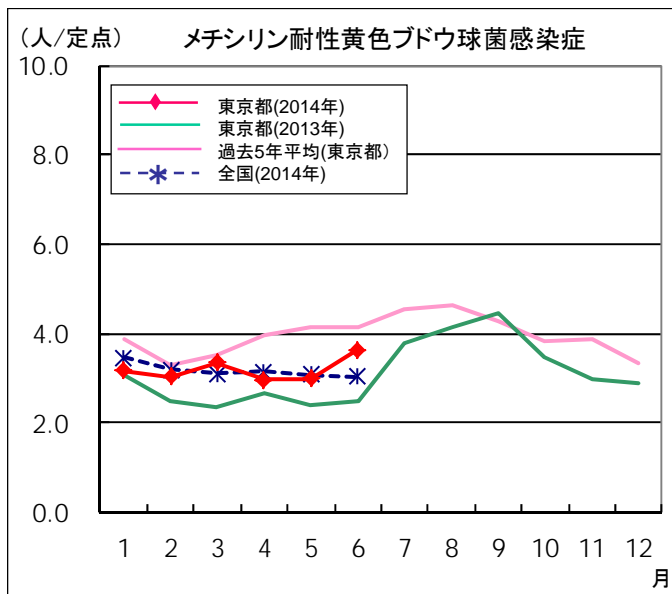
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2014年6月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検出情報

受付日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体
6/11	淋菌性尿道炎	18	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌
6/9	ヘルペス	19	女	皮膚病巣(水疱内容物)	単純ヘルペスウイルス2型
6/13	尿道炎	22	男	尿	淋菌
6/27	尿道炎	25	記載なし	尿	淋菌
6/18	淋菌性尿道炎	26	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌 クラミジア・トラコモナス
6/4	陰茎ヘルペス	27	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	単純ヘルペスウイルス1型
6/13	尿道炎	27	男	尿	淋菌
6/25	尿道炎	27	男	尿	クラミジア・トラコモナス
6/11	尿道炎	28	男	尿	クラミジア・トラコモナス
6/4	尿道炎	29	男	尿	クラミジア・トラコモナス
6/6	尿道炎	30	男	尿	淋菌
6/20	尿道炎	30	男	尿	淋菌
6/20	尿道炎	30	男	尿	淋菌 クラミジア・トラコモナス
6/2	単純ヘルペス	31	女	皮膚病巣	単純ヘルペスウイルス2型
6/4	陰茎ヘルペス	32	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	単純ヘルペスウイルス2型
6/13	尿道炎	32	男	尿	淋菌 クラミジア・トラコモナス
6/18	尿道炎	32	男	尿	クラミジア・トラコモナス
6/9	ヘルペス	33	女	皮膚病巣	単純ヘルペスウイルス2型
6/11	淋菌性尿道炎	34	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌
6/4	尿道炎	35	男	尿	クラミジア・トラコモナス
6/4	淋菌性尿道炎	35	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌
6/4	尿道炎	36	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	クラミジア・トラコモナス
6/27	コンジローマ疑い	38	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス53型
6/25	淋菌性尿道炎	41	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌 クラミジア・トラコモナス
6/23	ヘルペス	44	女	皮膚病巣(創傷)	単純ヘルペスウイルス2型
6/11	尿道炎	44	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌
6/18	尿道炎	44	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	クラミジア・トラコモナス
6/4	尖圭コンジローマ疑い	45	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス6型
6/18	陰茎ヘルペス	46	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	単純ヘルペスウイルス1型

受付日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体
6/18	尿道炎	46	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌
6/4	尿道炎	47	男	尿	クラミジア・トラコマチス
6/18	陰茎コンジローマ	49	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス11型 ヒトパピローマウイルス89型
6/20	尿道炎	記載なし	男	尿	クラミジア・トラコマチス

<感染症豆知識>

魚介類の生食と寄生虫～新しいタイプの食中毒～

2013年における全国の食中毒発生状況を病因物質別に件数の多いものからみると、ノロウイルス（328件）、カンピロバクター・ジェジュニ／コリ（227件）に次いで、寄生虫のアニサキスが3番目（88件）となっている。

10年前の2003年には、寄生虫による食中毒は統計上「その他」の物質に分類されるほどマイナーな存在であった（この年の「その他」は1件）。なぜ、魚介類の寄生虫による食中毒事例が増えたのか。主な要因は、物流技術の進展により魚介類が鮮度を保ったまま（寄生虫もその活性を保ったまま）、消費地まで届くようになったことではないかと思われる。以前は、漁獲地の周辺でしか食せなかった「さんまの刺身」が、今日、都内のスーパーでも広く扱われている。

アニサキスの他にも、食中毒件数が増加している寄生虫がある。近年、全国で鮮魚介類を摂食後、数時間程度で一過性の嘔吐や下痢を呈し、軽症で終わるものの検査をしても既知の病因物質が検出されず、原因不明として処理される事例が相次いだ。2011年、厚生労働省の審議会において本事例の調査・検討が行われ、約7割の事例でヒラメの刺身が提供され、その網羅的ゲノム解析の結果、クドア属粘液胞子虫の *Kudoa septempunctata* が有意に多く存在することを明らかにされた。また、このクドア胞子の腸管毒性評価でも物質透過性の亢進を示すなど病原性が示唆されたことから、2011年以降、クドアに起因する有症事例は食中毒として扱うこととされた（2013年の全国発生件数は21件）。

アニサキスもクドアも魚介類の冷凍処理（-20℃で48時間）によって失活する。しかし、刺身を好み素材の鮮度を重視する風土にあつて、法的に冷凍の義務づけは難しい。クドアについては、養殖場でのモニタリング検査など対策が行われているが、同時に消費者へリスクの周知も重要である。

（文責： 東京都福祉保健局 中村重信）